

# 令和元年度事業報告書(案)

特別養護老人ホームなりすな

## 1 運営事業

特別養護老人ホームなりすな 入居定員 86名 (1号館 50名 2号館36名)  
 (介護予防)短期入所生活介護事業 (利用定員 10名)

●入居稼働率(H31.4～R2.3) 目標稼働率:全体90.8%(1号館94.0% 2号館88.0% ショート85.0%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期平均
1号館	95.07	95.61	98.13	99.42	100.00	100.00	98.04
2号館	90.28	89.96	91.67	89.61	88.71	87.59	89.63
ショート	91.00	90.00	94.33	93.87	89.03	92.67	91.80
全体	92.85	92.91	95.31	95.16	94.62	94.58	94.24
平均実数(人)	89.1	89.2	91.5	91.4	90.8	90.8	<b>90.5</b>

(%)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体平均
1号館	98.32	99.87	92.84	91.61	93.59	91.81	<b>96.35</b>
2号館	89.96	87.31	85.04	91.31	86.40	91.13	<b>89.09</b>
ショート	91.94	91.00	84.19	90.00	93.10	84.52	<b>90.44</b>
全体	<b>94.52</b>	<b>94.24</b>	<b>89.01</b>	<b>91.33</b>	<b>90.84</b>	<b>90.79</b>	<b>93.01</b>
平均実数(人)	90.7	90.5	85.4	87.7	87.2	87.2	<b>89.29</b>

※参考

H29年度 94.56%

H30年度 89.00%

●入居、退居状況

	退居人数			内訳 (退居理由)		
	男性	女性	計	看取り	病院	その他
1号館	4	6	10	2	7	1
2号館	4	6	10	1	6	3
全体	8	12	<b>20</b>	3	13	4

※ H30年度 32名

	入居人数		
	男性	女性	計
1号館	4	6	10
2号館	4	5	9
全体	8	11	<b>19</b>

※ 夫婦部屋 入居3組 (空床3)

## 2 利用者状況

●年齢構成 (R2.3.31) (人)

	男性	女性	合計
64歳以下	1	0	1
65～69歳	2	1	3
70～74歳	0	1	1
75～79歳	2	4	6
80～84歳	5	5	10
85～89歳	6	14	20
90歳以上	6	36	42
合計	22	61	83
平均年齢(歳)	83.7	89.9	86.8

※ 100歳以上 4名

●介護度 (R2.3.31) (人)

区分	男性	女性	合計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	2	2
要介護3	5	12	17
要介護4	9	27	36
要介護5	9	19	28
合計	23	60	83

※ 平均介護度 4.10

(参考 H29年度3.92 H30年度3.94)

※ 経管栄養 16名 (1号館 14名、2号館 2名)

※ ポート 7名 (1号館 5名、2号館 2名)

昨年の稼働率89.00%に対し、93.01%(目標90.8%)と大きく達成することができた。その要因は、夫婦部屋への入居率が影響していると考えられるが、全体的には入退居の動きが少ない年であった。但し、看取りを含む医療的ケアをより必要とする方が増えているため、ご家族に説明のうえ入院を理由に退居された方が退居者の半数以上を占めた。主治医、協力病院及び関係機関との連携や介護職員の指導研修など体制強化も図ってきたが、今後は特に家族との信頼関係を構築していくことが重要と認識した。日ごろの生活の様子、年齢や認知症に伴う症状の変化など毎月の担当者からの手紙や看護からの報告等も意識して行ったが、介護サービスとして求められる範囲が大きくなっていると感じた1年でもあった。また、2号館夫婦部屋への入居希望は増えてきたように感じられるが、金銭的な問題や夫婦間の介護度の違い、家族関係など複合的な要因が重なり、今後の施設運営での大きな課題と考える。また、人材確保が困難な中、職員の働きやすい環境を整えていくことは重要なことであり、管理職を中心とした人材育成に関わる研修等にも力を入れた。

### 3 主な年間行事

実施月	行事内容	実施月	行事内容
4月	4/17 音楽クラブ 4/24 すくすく保育園交流会	10月	10/16 音楽クラブ 10/30 ドライブ
5月	5/15 日赤奉仕団(花植え)、音楽クラブ	11月	11/20 日赤奉仕団(作品づくり) 11/20 音楽クラブ 11/23、30 ドライブ
6月	6/1 なりすな祭 6/19 個別支援(外食:白兔道の駅) 6/19 音楽クラブ 6/21 日赤奉仕団(作品づくり)	12月	12/4 大正琴 12/13 もちつき 12/18 音楽クラブ 12/26 門松作り 12/29 外出支援
7月	7/2、9、13、31 外出支援(シェアト) 7/3 大正琴 7/9 すくすく保育園交流会 7/17 音楽クラブ	1月	1/1 お正月行事(書初め) 1/15 音楽クラブ
8月	8/5 流しそうめん 8/21 音楽クラブ	2月	2/3 節分 2/19 音楽クラブ
9月	9/2、4、5、20 大学生と一緒におやつ作り 9/16 敬老会 9/18 日赤奉仕団(作品づくり)、音楽クラブ 9/25 大正琴	3月	※新型コロナウイルス対策のため集団行事は中止

※ その他、各ユニットにおいてレクリエーション、おやつ作り、外出等を実施

### 4 実習生、ボランティア等の受入

- ・ ワクワクあおや職場体験事業 青谷中学校2年生 2名 (5/14～17)
- ・ なりすなまつりボランティア (青谷高等学校2名、鳥取短期大学2名、琴の浦支援学校等6名、その他1名)
- ・ 青谷高等学校 インターンシップ(1名)
- ・ 社会福祉協議会ボランティア体験事業(8/8～10 城北高等学校2名)
- ・ 栄養士教育実習(8/26～9/6 鳥取短期大学2名)
- ・ 教員養成等職場体験事業(9/16～27 鳥取大学4名)
- ・ 鳥取医療看護専門学校職場体験(1/27 1名)
- ・ 日赤奉仕団(隔月)、あんしん相談員(毎月)、その他(音楽クラブ他)



ワクワクあおや職場体験事業  
日赤奉仕団の皆さんと一緒に活動

### 5 研修会等の実施状況

#### ● 主な外部研修実績 (全122回、延べ受講人数166人)

- ・ 認知症介護実践者研修 3名
- ・ 認知症介護リーダー研修 1名 ・ 認知症介護リーダーフォローアップ研修 1名
- ・ ユニットケアフォローアップ研修 2名 ・ 喀痰吸引等研修、筆記試験 5名
- ・ キャリアパス研修(管理、中堅、チームリーダー) 各1名 ・ 腰痛予防研修
- ・ 福祉サービス苦情解決研修 2名 ・ 障がい者サポーター研修 4名 ・ 感染症、食中毒予防研修
- ・ 高齢者虐待防止、権利擁護研修 ・ メンタルヘルス対策研修 ・ 各種専門職研修

#### ● 内部研修実績

実施日	内容	担当部署等
5/31	キャリア研修(リーダー、主任級対象)	運営委員会(キャリアコンサルタント委託)
6/28	キャリア研修(一般職、パート職員対象)	
8/30	キャリア研修(サブリーダー、副主任級対象)	
9/27	キャリア研修(一般職、パート職員対象)	
2/28	キャリア研修(管理職対象)	
9/24	近隣施設合同災害研修	青谷地域福祉施設連絡会 (こども学園、社協ほのぼの)
10/11	感染予防研修	感染委員会
11/7	口腔機能向上推進モデル事業	口腔ケア委員会
11/27	労務管理研修会	法人本部
12/3	メンタルヘルス(ラインケア)研修	衛生管理委員会
12/24	看取り研修	看取り委員会
12/25、2/18	身体拘束研修	身体拘束廃止委員会
1/7、21、31	メンタルヘルス(セルフケア)研修	衛生管理委員会

## 6 地域貢献活動

- ・ オレンジカフェ運営（毎月第4木曜日実施）  
 協力：鳥取市西包括支援センター、青谷町社協（ほのぼの）、青谷・気高図書館、のぞみハウス他  
 年間参加総数 338人（1か月あたり平均参加人数 31人） ※3月はコロナウイルス対策のため中止
- ・ 地域サロン等出前講座職員派遣（認知症・介護予防について等）  
 5/21 おしゃべりカフェ（日置地区公民館）  
 12/21 亀尻サロン（亀尻地区公民館）  
 1/29 中町長寿会サロン
- ・ 介護の日イベント（参加総数 109人 ※H30年度55人）  
 10/9 日置谷地区公民館 10/10 青谷地区公民館  
 10/16 中郷地区公民館 10/17 日置地区公民館  
 10/23 勝部地区公民館
- ・ 地域ボランティア（海岸清掃、総合支所花植え）
- ・ 地域行事参加（あおいち 焼き鳥屋台出店）
- ・ ホームページや広報紙での活動状況発信



介護の日（青谷地区）



花植え作業



あおいち（焼き鳥出店）

## 7 リスクマネジメント関係、その他

### ① 介護関係

・ 出来事報告（転倒、介護中または原因不明のケガ等の発生件数）は年間149件と前年度から43%増となった。そのうち、鳥取市への報告対象となったものは20件（服薬関係11件）である。報告件数は増えているが、以前より職員の意識が向上した結果でもあると考えている。防ぐことができた、できる出来事には、「日ごろの気づき」が大きく影響している。また、入居者の生活を支えるという観点から各部署、委員会活動における年度目標に対し、具体的に取り組みを実践することができた。反省や課題も多く残るが、次年度へつなげていくよう努めていきたい。

### ② 防災関係

・ 平成30年9月に発生した水害の経験から福祉施設が隣接するこの地域一帯でお互いに協力し合う体制づくりが必要と感じ、青谷子ども学園、小規模多機能施設ほのぼのとの合同防災研修を実施。青谷総合支所、消防署、浜村警察署の地域関係者の協力を得ながら約40人の参加があり意見や情報交換を行うことができた。

・ 例年通り10月～3月までを感染症予防対策として、全職員及び外部面会者に対しマスク着用と消毒・手洗い等の徹底を行っているため、新型コロナウイルス対策における備蓄品については必要以上に慌てることはなかった。但し、面会制限など早い段階で対応はしているが、長期間に渡る現状に今後の心理的負担の軽減も考えていく必要があると感じている。

### ③ 苦情受付関係

- ・ 苦情受付報告については、別途報告書のとおり
- ・ 施設サービス向上家族アンケートの実施

### ④ 施設全体の大規模修繕、設備更新関係等（契約額）

- ・ 1号館冷暖房改修工事 74,050,000円（うち、設計管理費 3,500,000円）
- ・ 厨房内床塗替工事 1,500,000円 ・ 非常用照明交換（LED） 567,000円
- ・ 2号館排水管工事 1,200,000円 ・ 正面玄関屋根改修工事 1,590,000円
- ・ 厨房機器更新（業務用ガステーブル、貯米庫・水圧洗米機） 336,900円
- ・ AED（自動体外式除細動器）更新 255,000円



近隣施設合同防災研修

## 8 その他

- ・ 現金寄付 80,000円（なりすな祭り協賛、退居家族） ・ 物品寄付 車椅子3台（退居家族）、センサーマット（ごうぎん一粒麦の会）
- ・ 職員配置（R2.3.31現在）

職員総数 84名（正職員60名、臨時・嘱託7名、パート職員17名） ※本部、デイ職員は含まない

R元年度

採用者 6名（介護職員2名、調理員1名、作業療法士1名、介護パート2名）	退職者 0名
定年後再雇用 5名（看護3名、調理員2名）	
育児夜勤免除職員 4名	育休復職職員 3名
	産休職員1名
	※介護助手 3名

● 令和元年度苦情受付状況報告書

特別養護老人ホームなりすな

1 受付状況

	受付内容				備考
	全体	苦情	相談	その他	
本人	2	1	1	0	
家族	23	6	17	0	
職員	1	0	1	0	
その他	2	0	1	1	介護保険関係、ボランティア関係
合計	28	7	20	1	

2 苦情または相談内容

内容	件数
A サービス、ケアに関すること	6
B 職員の対応、言動に関すること	6
C 環境整備に関すること	0
D 衣類の忘れ物、取り違い等	0
E その他	18
合計	30

重複あり

3 考えられる原因 (相談事項は含まず)

内容	件数
A 各種チェック表の不確認	0
B 伝達不足・不備	1
C 職員の意識の問題	5
D 配慮・注意・確認不足	4
E その他	1
合計	11

重複あり

- ◆ 苦情として受けたものは全体で7件だった。うち、内容は重複部分もあるが職員の対応方法が統一されていなかったりその言動によることが原因である。対応や説明に関しては、受け止め方により印象が異なるため日ごろからの信頼関係の構築が必要である。家族様からの相談としては、入居申込に関するものがほとんどであったが、退院から在宅復帰が難しく入居できるまでの期間を確認されるといった相談内容が多かった。
- ◆ 1号館、2号館、ショート利用者のご家族を対象として、サービス向上アンケートを実施した。職員の対応やケア方法、環境面等の満足度を選択式とし、その他要望などについては自由記述方式とした。集計結果及び回答を文書と広報紙に掲載することで公表し、今後の改善につなげるように努めた。

